

## 第118回「村長とのふれあいトーク」当日のやりとりコメント

### 【1】村道について

家の前の村道が砂利道のままであり、舗装されていない。周辺の住民も使用しているので、車が通る際に石が飛んできたり、車輪の跡が窪んだり危険である。また、幼い子供もいるため、今後転んでけがをする可能性もある。

二年前にふれあいトークで同じ内容の相談をし、その後すぐに測量したり、砂利を転圧したりしていたようだが、それ以降進展がないので相談に来た。

#### ⇒【村長コメント】

該当の場所については、雨水の排水が難しいこともあり、また、村道補修の優先順位の問題もあるが、いずれにしても二年前に対応してからそのままになってしまっているため、改めて担当課から連絡する。

### 【2】大雨時の水害について

大雨時に家の前に水がたまり、川のようにになってしまう。膝のあたりまで水がきてしまうこともあり、近隣の家では水没による車の故障や、床下浸水などの被害がでている。10年ほど前から雨が降ると水がたまるのは同様だが、ここ2～3年は雨の降る量が桁違いなので不安だ。

#### ⇒【村長コメント】

現在、台風13号の被害があった箇所など、冠水の危険性のある道路の調査を行っており、相談箇所はおそらく調査対象であると思われる。

大雨の際に現在の雨水管では排水しきれていないということで、近くの公園等に一時的に貯留槽を埋め込み、集水場所を確保するという対策も考えられるが、どのように対策を取るのか、改めて担当課から連絡する。

### 【3】福祉関連について

飲食店を経営しているが、引きこもりの方や不登校の子どもたちへの居場所提供などに興味があり、「食」を絡めて現在の事業を拡大してできることがないか考えているところだ（子ども食堂やキッチンカーなど）。

#### ⇒【村長コメント】

不登校の子どもたちに対しては、教室に通わなくても学校に来られるように学校内の場所の確保が始まっているが、それ以外に家でもなく学校でもない第三の場所が必要だと感じており、その場合には食事の提供も必要になるだろう。また、引きこもりの方が社会に出るきっかけとして「食」を絡めてみるのもよいのではないかと。福祉関連事業を始めるにあたって、対象・支援内容は固めていく必要があると思う。こういった事例は東京のほうでは増えてきていると思うので、先進事例を調べたうえで回答する。

※ 他1名の方にご参加いただきました。（コメントは割愛させていただきます。）